

ダルニーフォーラム

第三十四号

2020年5月

www.edfthai.org/jp

新型コロナが大勢の子供たちの将来を脅かしています。



新型コロナが世界中の人々に各方面で大きな影響を与えています。そんな中、タイで最も深刻な影響を受けているのは子供のいる貧困家庭です。学校の休みが長期化し、栄養面での問題が出て来ています。最貧地域と呼ばれる東北地方の貧困家庭では、子供が十分な栄養を摂取できる食事は学校の給食のみだからです。勿論、学習の遅れという問題もあります。教育学者によると、今年は保護者の収入減により子供の授業料が支払えず、1割を超える子供が教育システムから脱落する懸念があります。EDF奨学金希望者の子供達はその典型的な一例です。

ブリーラム県の小学6年生、ティーラタムくん、ニックネーム、エムくん12歳は、80歳を超える祖母と8歳で小学2年生の弟と3人で暮らしています。2階建ての家は屋根に穴が開き、亜鉛板で覆っています。祖母は高齢で仕事をしてお

らず、バンコクにいる両親が物売りの仕事をして仕送りをしていました。2020年3月に新型コロナ感染の影響により、両親の働く店が閉店し、両親は失業して無収入になりました。以前のようにエムくんや祖母たちに仕送りをすることが不可能になり、祖母の高齢者手当だけが頼りです。エムくんは森に行き、芋を掘ったり野菜を採ったりして生活を維持しています。両親は今も失業中で無収入、バンコクでの生活は困難です。このためエムくんは自分の将来が不安で、2020年7月から中学1年生に進学できるかどうか分かりません。

エムくんの成績は真ん中くらい、小学校の平均成績は2.74でした。将来の夢は先生になって子供達を教える事です。ですが新型コロナのために家族を支える必要があり、彼はその夢を諦めなければならぬかもしれません。

これは2020年度の奨学金を待っている子供達10,360人の一例です。子供達の家族は新型コロナの影響受け、子供達は進学を失う恐れがあります。

世界中が新型コロナ対策に必死になっている中、貧しく教育機会に恵まれない子供たちと家族は、より厳しい状況に直面し、深刻な問題を抱えています。

皆さまご自身も、数々の問題やご不便の中での生活を送られておられることと存じますが、このような恵まれない子供たちに教育機会を提供支援しております当財団の活動に対し、暖かいご支援をお願い申し上げます。

奨学金という贈り物は、少なくとも一人の子供の生きる糧、そして明るい未来となります。あなたがそっと差し伸べる暖かい手が子供たちの人生を変えます。ご支援お待ちしております。

タイの地方の学校に奨学金と施設改善の支援を提供した一人の日本人男性



改修されたトイレの前で校長先生、先生、生徒たちと
(ナコンラチャシーマー県バーンノンマーク校)



洗面所、歯磨き場の前で校長先生(左)と共に
(ナコンラチャシーマー県セーナラット校)

2019年5月から8月にかけて一人の日本人男性が、10年弱のタイ赴任生活を支えてくれた感謝の気持ちとして、個人的な資金援助(100万バーツ)で実施された奨学金支援(36万バーツ)と農村部にある学校の施設改善プロジェクト(64万バーツ)によって、タイ東北地方の合計6県の6校で下記の通り、素晴らしい成果をもたらすことができました。EDFは6校の先生方と学生達を代表して、ご支援に心から感謝申し上げます。

学校の施設改善プロジェクト

1. ロイエット県バーンムアンホン校:図書室とコンピューター室の改善
2. ナコンラチャシーマー県セーナラットウィッタヤーカーン校:洗面所、歯磨き場の建設
3. ナコンラチャシーマー県バーンノンマーク校:トイレの改修
4. ブンカーン県ソムサヌック校:男性用トイレの改修
5. アムナートチャレン県バーンノンドゥー校:トイレの排水機器の修理
6. プリーラム県バーンペンブアイ校:飲料水用給水塔の改善

このプロジェクトにより、合計6校の60人に中学卒業までの3年間コースの奨学金を提供支援できたことと共に、施設改善プロジェクトで1,419人の学生達と92人の先生方が改善された良い環境での学校生活が可能になりました。

プロジェクト終了後、その完成状況を見に行くために、この日本人男性は、ナコンラチャシーマー県のセーナラットウィッタヤーカーン校とバーンノンマーク校を訪問しました。そして、両校の校長先生と、農村部の学生たちに対する奨学金提供の必要性、学校の予算不足により生じている問題等について話し合い、その後、奨学生の家庭訪問も行いました。

なお、EDFは奨学金が必要とされる学生のリストと共に、予算不足で校内の施設改善などが出来ない問題を抱えている学校に関する情報を入手しています。この為、もし個人として、企業として、皆様から、ご支援のご意向がありましたら、すぐにそのご支援先や内容を検討し、ご紹介、ご提案させて戴くことができます。校内の施設改善のような少し大規模のプロジェクトとしての支援にご興味をお持ちの際には、是非お気軽にEDFまでお問い合わせください。

お知らせ

現時点においては、EDFタイにおける奨学生の在籍確認と奨学金提供、写真・奨学生証書の発行については、この新学期開始時期の変更により、自動的に1カ月程度遅れることとなりますので、改めて下記のスケジュールをお知らせします。

- ・ 2019年6月30日まで(一ヶ月延長):2020年度のための奨学金募集期間
- ・ 2020年7月1日:2020年度新学期の授業開始
- ・ 2020年7月~8月:学生の進学状況を確認の上、各奨学生への支援者を決定し、奨学金を振り込みます。
- ・ 2020年9月~10月:奨学生の情報と証書を支援者の皆様にお届けします。

尚、今年度2020年度の奨学金募集は2020年6月30まで行っております。冒頭にご紹介しました通り、新型コロナ問題で、奨学金を貰えない生徒が例年より大きく増加する可能性があります。ご友人、知人へのご紹介、皆様ご自身の追加ご支援も含め、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます